

We are
CHANGE
PROMOTER.



コミュニケーション研修ですぐ使える
ゲーム15選！

ゲームを取り入れる効果性



コミュニケーション研修にゲームを取り入れると、**コミュニケーション力が強化され、チームビルディングが進む**

理由①：自然なコミュニケーションの誘発

ゲームを進める過程で発生する**自然なコミュニケーション**を通じて、**メンバーそれぞれの性格や特性をお互いに深く理解できる**ため、日々の仕事のなかでもより適切な関わり方が可能となる

理由②：体感型の効果

体を動かしたり頭を使ったりしながら**実際に体験**することで、コミュニケーションやチームワークの方法論が、**知識ではなく体感として浸透しやすくなる**

人狼（じんろう）

- 「村人」と村人に化けた「人狼」のチームに分かれて、推理や説得を通して勝利を目指す
- 村人チームは、全員が村人のふりをしているメンバーの中から、誰が人狼なのかを探し出す
- 人狼チームは、自分の正体がばれないように、巧みに嘘をつく



- 対人関係を円滑にするスキルや自己主張スキルの促進効果が期待できる
- 基本ルール以外にさまざまなバリエーションがあり、1ゲーム10分程度で完結する「ワンナイト人狼」というルールもあるので、タイムスケジュールなどに応じて取り入れられる

NASAゲーム

- 「月に不時着してしまった宇宙飛行士」という設定で、320km離れた母船へと戻るために、手元のアイテムに対して優先順位を決めていく
- 個人で優先順位をつけた後にチームで話し合い、なるべく妥協なく、合意のうえでチームとしての優先順位をつけていく
- NASAによる模範解答に最も近い解答を出したチームが優勝



- チームでの話し合いにおいて、明確にそれぞれの**コミュニケーションの癖**が出る
- 意見が対立したときに、単なる多数決や諦めで結果を決めるのではなく、**しっかりと話し合っ**て合意を形成する力が身につく

ペーパータワー

- その名のとおり「紙のタワー」を作り上げるゲーム
- クラフト紙等を用いて、チームごとに制限時間内にできるだけ高いタワーを作り上げる



- 作戦を練ったり、うまくいかないときに互いを気遣ってチームの雰囲気やモチベーションを保ったりすることで、**チームでコミュニケーションを取りながら課題を乗り越えていくことの難しさと楽しさを体験**できる
- NASAゲームと同じように**コミュニケーションの癖を振り返り、内省する**うえでも非常に有効

条件プレゼン

- いくつかのグループに分かれて、事前に与えられたキーワードやテーマをもとにプレゼンを実施
- 一番おもしろい、優れたプレゼンを行なったグループが勝ち



- 「想像力・発想力をフルに使ってさまざまなアイデアを出し合い、チーム内でコミュニケーションを取りながら最終的に1つの案に絞り込む」という**企画のプロセスを体験**できる

ビズストーム

- メンバー一人ひとりが企業の経営者となって業績を競い合うゲーム
公式サイト：<https://bizstorm.jp/>



- 経営を疑似体験することにより、**経営戦略やマーケティング戦略の重要性を短時間で体感**できる
- 従来のリアル版に加えて**オンライン版**もリリースされており、感染症拡大防止のためにオンラインで実施したり、全国に参加者がいたりする場合におすすめ

バースデイライン

- 10分前後で完結する手軽なコミュニケーションゲーム
- 参加者はいくつかのグループに分かれて、グループ内で誕生日の日付順に前から並び替わる
- ただし、ゲーム中に参加者は一切言葉を発してはいけない
- 筆談も禁止で、言葉を使わずにいかにうまくコミュニケーションを取れるかが試される



- 非言語コミュニケーションの難しさと大切さが学べるゲーム
- 研修の最初等にアイスブレイクやチームビルディングを目的として実施することもできる

マナーストーリー

- ストーリーに沿ったクイズ形式で楽しくビジネスマナーを習得できるゲーム
- ビジネスマナーを問うクイズに答えることでストーリーが進み、一定以上不正解になるとゲームオーバーになる
公式サイト：<https://heart-quake.com/article.php?p=5900>



- 受け身になりがちなマナー研修にゲーム要素を加えることで、**参加者の集中力を維持する効果**が見込める

マネジメントゲームMG

- 40年前、まだベンチャー企業だったソニーが開発したボードゲーム
- 効果的な研修ゲームとして、今も国内外で高い人気を集めている
- 近年、オンライン版も登場
公式サイト：<https://mg-online.jp/>



- 決算書の読み書き等の実務的なノウハウも含めて**経営を疑似体験**できる
- **経営に必要な意識や視点**をしっかりと学んでもらいたいときにおすすめ

The 商社

- 3～6人ほどでチームを組み、チームを1つの会社（商社）と見立てて、他チームとの交渉を繰り返しながら自社を拡大させていくゲーム
公式サイト：<https://www.projectdesign.co.jp/the-shosha>



- 他チームとの利害を調整するという交渉のプロセスを経て、「Win-Win」の関係を成り立たせることの重要性に気付くことができる
- ゲームをうまく進めるにはチーム内の意見をまとめることも重要なので、合意形成のプロセスやリーダーシップの発揮を学ぶこともできる

The Team

- ゲーム内で上司役・部下役を交互に体験することで、2つの視点からコミュニケーションにおける課題を発見できるカードゲーム
公式サイト：<https://www.projectdesign.co.jp/the-team>



- なぜ「報・連・相」が大切なのか、なぜ部下にビジョンを伝える必要があるのか等、実際のビジネスで「部下」と「上司」、**それぞれに求められることの意味を実感**できるため、新入社員研修はもちろんのこと、**マネージャー層向け研修でも活用**できるゲーム

働き方改革ゲーム

- 現在日本が国をあげて取り組んでいる働き方改革を、自分ごととしてとらえられるビジネスゲーム
- 参加者はいくつかの部門に分かれて、働き方改革に関連する数回意思決定を経て、自社を強くすることを目指す
公式サイト：<https://www.projectdesign.co.jp/work-style-reform>



- ゲームを通じて、自分自身がどのような組織を作りたいか、何を大事にして働いているのかを考えることもできる
- 働き方改革を推進する立場にあるマネージャー層だけでなく、若手社員にもおすすめ

The Shop

- 「お客様に支持されるお店」を作ること为目标として店舗の経営を行なうシミュレーションゲーム
- 1~6人でチームを組み、経営のビジョンを設定し、経営の打ち手を選んで店舗の収益を増やしていく
公式サイト：<https://www.projectdesign.co.jp/the-shop>



- **ビジネスを俯瞰的に見るスキル**や、経営方針を実践するための**適切なコミュニケーションスキル**が養われるため、店長候補や新任店長、マネージャー、スーパーバイザー向けの研修で活用できるゲーム

The Manager

- 財務諸表を軸として資金調達や人材への投資を行い、企業の成長を目指す、企業経営シミュレーションゲーム

公式サイト：<https://www.projectdesign.co.jp/service/the-manager/>



- 利益を上げるサイクルを効率的に回す方法や、チームの財務体質を正確に把握する方法等、**高度な内容を学べるゲーム**
- リーダーとしての**主体性や責任感、マネジメント能力**等も身につけられる

スライド 15

A0 公式サイトURLについて、HRドクターのページのリンクが切れていたため、Google検索し、現在のURLを掲載しております。
作成者, 2022-04-14T22:36:43.488

ジェスチャーゲーム

- 回答者が与えられたお題をジェスチャーで伝え、ほかのメンバーがそのジェスチャーを見て正解を導き出すという、TV番組等でもお馴染みのゲーム
- 数名で1つのチームを組み、チーム対抗で制限時間内にいくつ正解できるかを競う



- きわめてシンプルなゲームだが、積極的に伝えようとする力、限られた情報から答えを導き出す発想力等が鍛えられる

レゴ®シリアスプレイ®

- レゴ・ブロックで作品を作ることで、メンバーそれぞれの本音を引き出し、共有するゲーム
- 各々が「自分自身の核心」や「業務」等をテーマに作品を作り、それを使って物語を紡ぎ、ほかのメンバーに自分の内観を伝える



- ビジネスにおいては論理が最優先されがちだが、**感性で物事をとらえ直し**、それをまた論理で考えてみると、問題解決につながることもある
- お互いを深く知ることによるチームビルディングの効果だけでなく、**組織のビジョン作りや新たな戦略の立案にも役立つゲーム**

ゲーム型研修でよくある失敗：

「ゲームをやって楽しかった」というだけで研修が終わってしまい、実際の業務への反映ができていない



- まず「研修を通じて何を得たいのか？」という研修の目的や、ゲームを行う意図を明確にしてから、**目的・意図に適したプログラムを選ぶ**
- 研修内容を業務に活かしてもらうために、「ゲームで得られた経験や体験をこれからの仕事にどうつなげるのか」を**参加者一人ひとりに言語化してもらう**
- 「何を実践するか」まで、**行動を明確に落とし込んでフォローアップすること**がおすすめ

会社概要



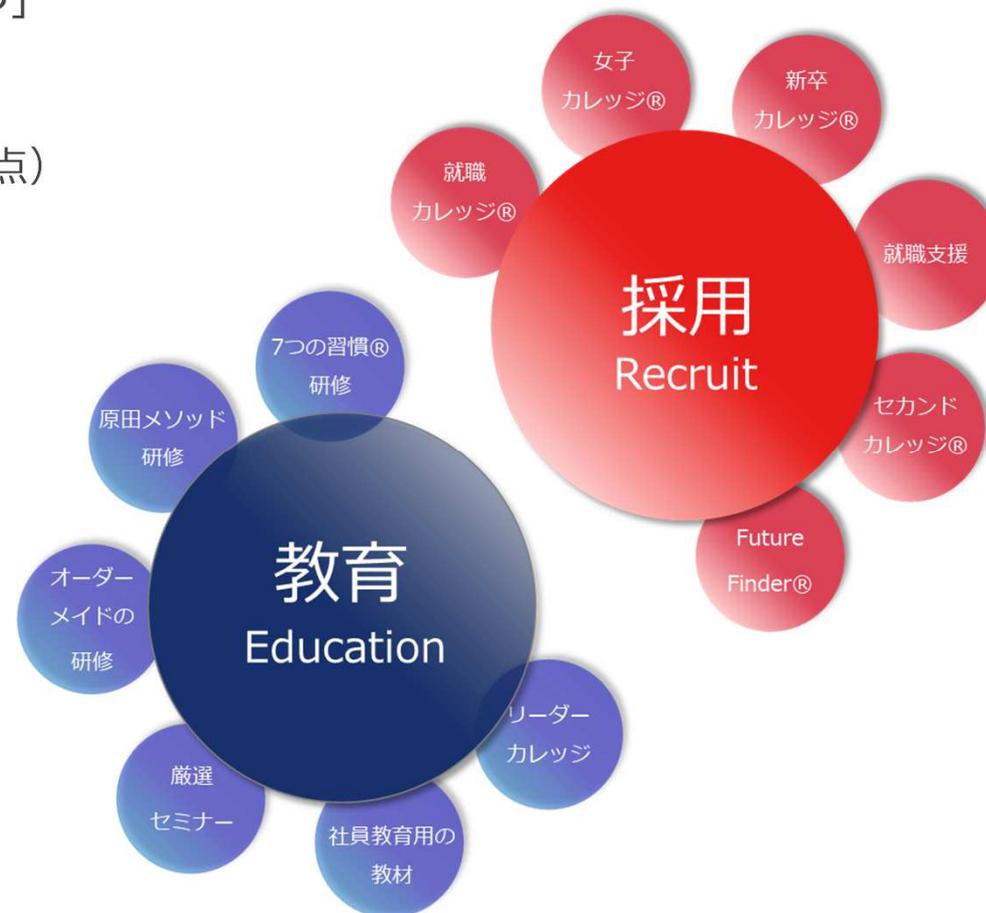
- **株式会社ジェイック**  [TYO:7073]
- 設立 : 1991年3月
- 資本金 : 2億5,517万円 (2021年1月末時点)
- 社員数 : 212名 (2021年1月末時点)
- 取引先 : 76,495社

mission

企業のホームドクター、人材のメンターとなり
人と組織の限らない可能性に貢献し続ける

vision

「学ぶ楽しさ」「働く幸せ」「成長する喜び」に
満ちあふれた社会を実現する。



会社概要



「働きがいのある会社」

Grate Place To Work® Instituteが運営する「働きがいのある会社」ランキングは、世界約60カ国で「働きがい」に関する調査・分析を行い、一定の水準に達していると認められた会社や組織を発表するランキングです。ジェイックでは2017年の初エントリーから6年連続でベストカンパニーに選出されています。



日本HRチャレンジ大賞

「日本HRチャレンジ大賞」(主催：日本HRチャレンジ大賞実行委員会、後援：厚生労働省、株式会社東洋経済新報社、株式会社ビジネスパブリッシング、ProFuture株式会社)は、“人材領域の果敢なチャレンジが日本社会を元気にする”をキャッチフレーズに、人材（HR）領域で優れた新しい取り組みを積極的に行っている企業を表彰するものです。ジェイックは社会性の高い独自サービスの開発を通じて過去3回イノベーション賞や奨励賞で表彰されています。

提供する社員教育



株式会社ジェイックは

- ① **ヒューマンスキル分野**
(主体性、リーダーシップ、コミュニケーション、強み発揮etc)
- ② **新入社員、若手、管理職**

の研修を得意とする教育会社です。



個別研修
(講師派遣)



公開セミナー
(対面型)



内製化支援
(講師育成/コンテンツ提供)



E-learning
(動画学習)

【株式会社ジェイック】

教育事業本部

Mail : kenshu@jaic-g.com

TEL : 03-5282-7600

テレワーク体制となっておりますので、電話でのお問い合わせは、折り返しの対応とさせていただくことが多くなります。予めご了承ください。